

まちの 話題

具志頭中学校 稲作コースで カカシコンテスト

作物の栽培を通し生徒たちに食の大切さや主体的に判断・行動できることを身につけさせようと具志頭中学校では、10月2日、稲作コースの生徒を対象に総合的な学習の時間でカカシコンテストを開催しました。種まきから田づくり田植えと一連の作業を通して育ててきた稲も多くの実をつけて黄金色に色づき始めています。大事に育ててきた稲がスズメなどに食べられないようにとカカシをつくることを提案し誰の力カシが一番良くできているかを学校関係者や生徒全員が審査しました。ユニークな力カシが多く見られる中から最優秀賞には、大城史織さん（写真右端）と當山萌さん（写真左端）の二人で一緒に作成した作品（写真右の力カシ）が選ばれました。二人は、「顔の表情に時間をかけて作成しました。選ばれてとてもうれしいです」と受賞したことに喜び、これから行われる稲刈りでたくさんの実が収穫できるのを楽しみしていますと話しました。



▶右から大城史織さん、嘉数さくらさん、長嶺優希さん、當山萌さん

新崎さん、玉城さん母校を表敬訪問 今後の目標に意欲を見せる

9月8日に行われた県高校商業実務協議新人大会、簿記の部で那覇商業高校が団体競技及び個人総合競技の部で共に優勝を果たしました。その中で町内字東風平出身の新崎裕菜さん（写真右）は、団体競技と個人競技両方で優勝という快挙を達成し、字伊覇出身1年生の玉城愛美さんは、3位に入賞しました。10月1日には、顧問の神谷先生と母校東風平中学校を訪問し、校長先生や教頭先生、担任の先生に大会結果を報告しました。



▲右から新崎裕菜さん、玉城愛美さん

新崎裕菜さんは「優勝できたのは担任の神谷先生をはじめ支えてくれた周りの人たちのおかげです。今後の目標は日商簿記1級をとることです」と今後の目標を力強く話しました。また、簿記をはじめてまだ半年の玉城愛美さんは、「難しい問題が解けた喜びを忘れず簿記を一生懸命頑張りたい。まずは、日商簿記2級に挑戦したいです」と二人ともこれからの目標に意欲を見せてくれました。

琉球新報社長賞を受賞

沖縄県総合事務局、沖縄県、市町村が共同で主催している平成19年度都市緑化コンクールが10月12日、沖縄都市緑化祭会場で行われ字富盛の野原芳子さんの「女性的な庭」と題した作品が琉球新報社長賞を受賞しました。金をかけず、趣味でつくったという野原さんの庭には、ゲッケツ、レンギョ、ツバキなどの色鮮やかな緑化植物が目立ち、通行する方の目を大いに楽しませていきます。



琉球新報社長賞を受賞した野原さんの
▼「女性的な庭」





十五夜に間に合わせて小城でふちゃぎづくり

今年3月、小城に農業活動拠点施設が完成したことを受けて、小城区民6名が9月25日、十五夜に間に合わせて「ふちゃぎ」作りを行いました。米をこねるのが大変だったというふ

ちゃぎ作りですが時間をかけ、丹精こめた分だけおいしく仕上がり配られた家庭でも大好評でした。



ぐしかみ文庫連絡会では8月18日、町の老人福祉センター（社協具志頭支所）において、夏休みの思い出というテーマでスクラップブック教室を開催しました。スクラップブックに写真というのは専用の台紙の上に写真を可愛く飾り付けるもので浦添から吉長祥子先生指導のもと、参加した子どもたちは思いの飾り付けをし、出来上がった作品に満足していました。

夏休みキャラバン「スクラップブック」教室開催

歌と踊りで祖父母参観賑わう

園児と祖父母がふれあいを楽しむことを目的に祖父母参観が、9月14日具志頭幼稚園で開催されました。町内外から約70名の祖父母が出席し、歌や踊りの余興を楽しみながら幼児達の交流を楽しみました。今年は各学級でたっぷり遊んでもらった後に、遊戯室で子どもたちの歌やリズム、エイサーなどが披露されました。また、桃原三味線教室の桃原肇先生のご協力もあり、幼い時から方言や沖縄の音楽や楽器に触れたり、親しむことが大切だと力説していました。また、お供の大田さんが汗水節を披露すると「この歌知っている」とくちづさむ子どもたち、祖父母の皆さまも歌、三味線に聞き惚れ、孫達と歌い踊って楽しいひとときを過ごしました。



8月1日・2日両日、仲座公民館で小学生1年生から3年生25名を対象に、8月22日・23日は、具志頭児童館で小学生4年生から中学生27名を対象に夏休み絵画教室を開催しました。講師の先生は、昨年に続き、小谷洋子先生に指導してもらい低学年はのびのびと高学年はデッサンの仕方や色の塗り方などを教えてもらいオリジナルの絵を完成させていました。



夏休みキャラバンで絵画教室を開催